

介護予防支援の指定対象の拡大に対する対応について

従来、要支援の方のケアプラン作成などの介護予防支援は要支援 1 または要支援 2 の認定を受けた方に対して、地域包括支援センターまたは地域包括支援センターより委託を受けた居宅介護支援事業所が行っていました。

しかし、介護保険法の改正により令和 6 年 4 月から、地域包括支援センター設置者のほか、指定居宅介護支援事業者も指定を受けて介護予防支援事業を実施できることとなりました。

要支援者のプランは、介護予防サービスを含んだ「介護予防支援」と、総合事業のみの「介護予防ケアマネジメント」がありますが、今回新たに指定事業所として行うことができる業務は「介護予防支援のみ」となります。

そのため、「介護予防ケアマネジメント」は従来通り地域包括支援センターまたは地域包括支援センターから委託を受けた指定居宅介護支援事業所が実施することとなります。

指定申請から指定までの流れ

